



2022年5月12日

各位

会社名 クラボウ（倉敷紡績株式会社）
代表者 取締役社長 藤田 晴哉
（コード番号 3106 東証プライム市場）
問合せ先責任者 執行役員企画室長 松井 一雄
（TEL 06-6266-5030）

クラボウグループの新中期経営計画「Progress'24」に関するお知らせ

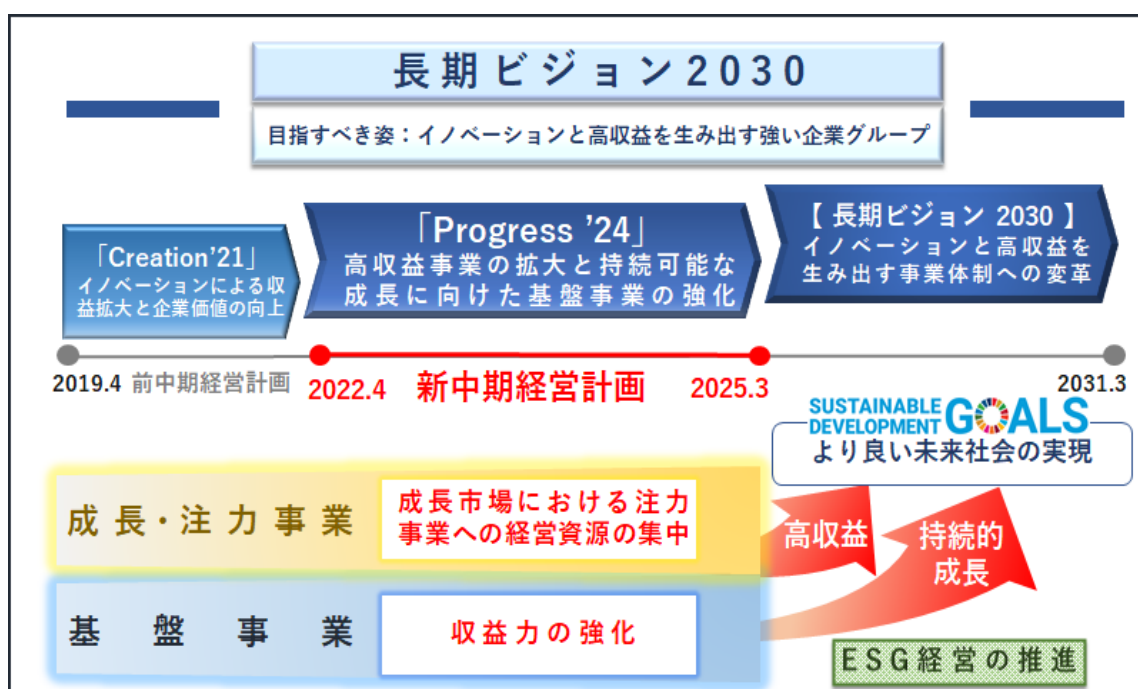
当社グループは、このたび、2024年度を目標年度とする3ヵ年の新中期経営計画「Progress'24」を策定し、本年4月からスタートしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 基本方針

「Progress'24」は、イノベーションと高収益を生み出す強い企業グループを目指したクラボウグループ「長期ビジョン2030」の第2ステージに位置し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより進捗が遅れた計画を成長軌道に戻す重要な位置付けとなります。

「Progress'24」では、「高収益事業の拡大と持続可能な成長に向けた基盤事業の強化」を基本方針とし、成長市場における注力事業へ経営資源を集中するとともに、基盤事業の収益力強化に取り組み、変化の激しい経営環境にあっても、持続的に企業価値を高めていくための最適な事業ポートフォリオを構築してまいります。また、グループガバナンスを強化するとともに、社会課題の解決に取り組むなどサステナビリティを意識した経営を進めてまいります。



2. 重点施策

(1) 成長・注力事業の業容拡大と基盤事業の収益力強化

当社グループの事業ポートフォリオの基本方針に則り、半導体製造関連、機能フィルム、自動化・制御機器、機能素材などの注力事業に経営資源を集中することにより業容の拡大を図るとともに、繊維事業や軟質ウレタン事業などの基盤事業では、生産現場におけるデジタル化や QR 対応の強化などにより、生産効率向上やコスト削減を進めることで安定収益を確保します。

▶▶ クラボウグループの事業ポートフォリオ



(2) R&D 活動の強化による新規事業創出と早期収益化

技術研究所やテキスタイルイノベーションセンターを中心に、FA・ロボット制御、半導体製造関連、機能素材、遺伝子抽出・解析に重点を置いた研究開発活動を推進し、新規事業の創出と早期収益化を図ります。

(3) SDGs 達成への貢献

当社は創業以来、労働環境の改善や地域社会の発展へ貢献してまいりましたが、メーカーとしての責任を果たすものとして、目標 9 の「産業と技術革新の基盤をつくろう」、目標 11 の「住み続けられるまちづくりを」および目標 12 の「つくる責任 つかう責任」を最重要課題と捉え、その目標達成に注力してまいります。

(4) 多様な人材の活躍推進

当社グループでは、ダイバーシティ&インクルージョンやフレックスタイム・テレワーク制度などの柔軟な働き方の推進により、多様な人材が個々の能力を最大限に発揮し、自律的に業務を進めることのできる企業風土づくりに努めてまいりました。 今後はさらに、企業価値を持続的に向上させる事業変革力を持った社員を育成するとともに、社員が組織に主体的に貢献する「エンゲージメントの高い組織」の構築を目指してまいります。

3. 数値目標

(1) 連結業績目標および経営指標

(単位:億円)

	2021年度	2024年度	重要な経営指標(2024年度)
売上高	1,322	1,600	売上高営業利益率 6.0%
営業利益	75	96	ROE(自己資本純利益率) 7.0%
経常利益	87	102	ROA(総資産営業利益率) 5.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	56	72	ROIC(投下資本利益率) 5.6%

(2) 事業セグメント別業績目標

(単位:億円)

		2021年度	2024年度	比較
繊維事業	売上高	446	540	+93
	営業利益	▲1	8	+9
化成品事業	売上高	516	630	+113
	営業利益	29	39	+9
環境メカトロニクス 事業	売上高	235	290	+54
	営業利益	27	30	+2
食品・サービス 事業	売上高	84	103	+18
	営業利益	2	7	+4
不動産事業	売上高	37	37	▲0
	営業利益	27	23	▲4
消去又は全社(*)	営業利益	▲10	▲11	▲0
合計	売上高	1,322	1,600	+277
	営業利益	75	96	+20

(*)「消去又は全社」の内訳は、主に各セグメントに帰属しない研究開発費です。

(3) 各事業セグメントの重点施策

(繊維事業)

- ・独自技術を活用した高機能素材やサステナブル素材の販売拡大
- ・サプライチェーン全体を意識したQR対応と生産性向上

(化成品事業)

- ・半導体やエネルギー関連市場における注力事業への経営資源集中
- ・軟質ウレタンや住宅用建材など基盤事業の生産体制の効率化と新規ビジネスの拡大

(環境メカトロニクス事業)

- ・商品力強化による競争優位性の獲得と海外市場への拡販
- ・社会課題の解決に貢献する商品群の市場投入

(食品・サービス事業)

- ・食品事業：顧客視点でのフリーズドライ新商品の開発と拡販
- ・ホテル事業：大規模リニューアルを実施した宿泊施設の稼働率アップと地域社会への貢献

(不動産事業)

- ・賃貸用不動産の再開発と早期収益化

4. 投資および資本政策の基本方針

中長期的視点で成長可能性の高い分野や、DXを推進する上で基盤となる ITインフラ、カーボンニュートラル達成に向けた環境投資へ経営資源を投入し、収益力の向上に努めてまいります。経営資源の投入にあたっては、M&A や設備投資、研究開発、知的財産、人材への投資など、積極的かつ継続的に実施いたします。

設備投資(3期累計)		研究開発費(3期累計)	
(単位:億円)		(単位:億円)	
成長・注力事業	65	FA・ロボット	13
環境投資	24	半導体製造関連	12
IT投資	24	遺伝子抽出・解析	5
維持更新ほか	69	機能素材	29
合計	182	その他	1
減価償却費	175	合計	62

知的財産につきましては、IP ランドスケープ活動等を通して、R&D や事業活動で創出される価値(技術、ノウハウ、ブランド等)を解析・評価・選別し、権利化・活用することで、成長・注力事業の競争優位性に結びつけ、業容の拡大に繋げてまいります。

また、株主への配当が企業の最重要課題の一つであるとの認識の下、安定的かつ継続的な利益還元を基本といたしますが、その他株主還元策として自己株式の取得も併せて検討し、「Progress'24」期間における総還元性向の目標値を 50%以上と設定し運用することで、株主還元の充実を図ります。

5. サステナビリティに関する基本方針

当社グループでは、持続可能な社会の実現に貢献するためには、企業自らが持続的な企業価値の向上を目指さなければならないと考えており、付加価値の高い技術や商品・サービスを創出し、高収益事業を育成・拡大するとともに、当社グループの経営理念である「私たちクラブグループは、新しい価値の創造を通じてより良い未来社会づくりに貢献します。」のもと、以下の実践に努めます。

- (1) 事業を通じた社会課題解決への貢献
- (2) 地球環境の保全を意識した事業活動の推進
- (3) 人権の尊重および、働きやすさとやりがいのある職場環境の整備
- (4) 信頼される企業づくりの推進

なお、気候変動に関する TCFD 等の考え方や開示については、「Progress'24」の期間中に検討してまいります。

新中期経営計画「Progress'24」の詳細につきましては、2022年5月19日に予定しております機関投資家向け「2022年3月期 オンライン決算説明会(Zoom ウェビナー)」終了後、当社ホームページに資料を掲載する予定です。

(注意) 当資料に記載されている業績等の内容は、資料作成時点における事業環境等を前提とした当社グループの予測に基づくものであり、記載された将来の業績数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

以上